

【広域ブロック自立施策等推進調査】

フォローアップ報告書

調査名		地域底力強化のための新たな交流連携推進調査(「地域コア」構築による交流連携推進調査)	
調査主体	幹事府省(庁)局課名	国土交通省中国地方整備局	
	関係府省(庁)局課名等		
調査地域		中国圏全域	
調査年度		平成21年度	
配分額		7,817千円	
調査概要	調査内容	中国圏では、中山間地域、島嶼部を中心に全国に先行して人口減少、高齢化が進展し、若年層の圏域外流出による農業・商店等地域産業の担い手不足が顕在化し、地域単独で活力を維持することが困難な状況にある。このため、地域特性に応じた新たな交流連携等、地域底力の強化を図る方策が必要となっている。そうした状況を踏まえ、積極的な交流連携を進めるにあたっては、「地域に活力があること」が前提となり、地域を支える拠点機能「地域コア」の形成が求められる。中国圏広域地方計画においても拠点とネットワークの必要性は認識されているところだが、その形成方法を検討すべく、地域コアのハード面・ソフト面の具体的なイメージとして活用可能な施設、結節場所、人々が共感を持てる資源等の様々な「地域コア」を設定し、その有効性を検証するための試行的調査を尾道市しまなみ海道沿線及び世羅町において行った。	
	調査結果(成果)	2つの試行的調査実施地域において、資源として、ハード面での商店街、美術館・歴史館、寺社、農園等、ソフト面ではおもてなし文化、銀山街道等の固有の歴史、ガイドや研究家の人材、特産品を発掘。地域内外の組織ネットワーク及び協力者(サポーター)と協働し、「地域コアを資源(連携ネタ)として発掘し、横断的組織で検討し、広域的な連絡組織による情報交換・共同事業により、広域自立エリア形成(調査地域の交通軸沿線の振興)につなげる」という手法の効果実証を行った。試行的調査の結果、「連携ネタを中心とした地域内外で横断的に集まる場」「広域的な視点、公益的な立場での地域コア同士の連携を促す場」の必要性、また横断的な組織の構築における「この指とまれ」方式、広域的連携のための同種の地域コアや同じサポーターを有する地域コアをつなぐ情報共有・共同事業のあり方について整理した。	
	関係する広域地方計画	中国圏広域地方計画第3章第7項「中山間地域・島しょ部における多面的機能の保全・活用と暮らし安心プロジェクト」	
		調査結果の活用状況	調査結果を受けた具体化
計画	期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> 各県、市町村等の新たな交流連携方策立案の基礎資料として活用 公共団体、民間企業、NPO法人等の地域振興活動促進のために活用 試行的調査実施地域における受け皿づくりに活用 テーマに沿った広域的な連絡組織の素地づくりに活用 	<ul style="list-style-type: none"> 尾道市瀬戸田地域において地域活性化を図る横断的組織である「せとだ島・島」ん会議が発足 世羅町において銀山街道をテーマとした「銀の道せらの会」が発足
	22年度	<ul style="list-style-type: none"> 尾道市 <ul style="list-style-type: none"> まちづくり交流会inおのみちの開催(23年3月12日) 世羅町 <ul style="list-style-type: none"> 銀山街道地域の広域的な交流連携の可能性に係る勉強会の開催 銀山街道沿線市町等調整会議の開催 銀山街道を活かした地域づくりフォーラムの開催 	<ul style="list-style-type: none"> 尾道市 <ul style="list-style-type: none"> 「しまなみ海道サイクリングロード案内サイン(多言語版)」の制作・設置(向島・因島・生口島 計13基) サイクリングルートの走行帯、路面距離表示、路面方向表示の施工 情報交換の場づくり(しまらぶ・せとだ) 「島ごと美術館」の修復(平成23年3月～) 世羅町 <ul style="list-style-type: none"> NPO法人せらマルベリークラブ歴史文化部会の取組みへと発展し、「タイムスリップ夢街道せら」事業を展開
フォローアップ	23年度	<ul style="list-style-type: none"> 尾道市 <ul style="list-style-type: none"> 「銀の道飛脚プロジェクト」の開催(後援) 「銀の道制覇!!ツーリング」の開催 「銀山街道学び会」の開催 銀山街道沿線市町等連携協議会設立準備会への参画 銀山街道沿線市町等連携協議会の設立・参画 世羅町 <ul style="list-style-type: none"> 銀山街道沿線市町等調整会議の開催 銀の道フェスティバルの開催 銀山街道沿線市町等連携協議会の設立 	<ul style="list-style-type: none"> 尾道市 <ul style="list-style-type: none"> 「しまなみサイクルオアシス」の設置(尾道市内:計16箇所、愛媛県今治市:13箇所、愛媛県上島町:7箇所) 「銀の道アクションプラン」策定 情報交換の場づくり(しまらぶ・せとだ) 「島ごと美術館」の修復 シーカヤックを活用したアート巡りモニターツアーの実施 親月会(ベルデパールせとだ)の開催 島ごと美術館巡りバスツアー(モニターツアー)の実施 平成24～25年度活動計画の策定 世羅町 <ul style="list-style-type: none"> 中国建設弘済会の助成を受け、「タイムスリップ夢街道せら」事業として、シンポジウムの開催や、マップの作成等を実施
	24年度	<ul style="list-style-type: none"> 尾道市 <ul style="list-style-type: none"> 「しまなみサイクルオアシス」の設置箇所の増加に向け、しまなみサイクリスト交流創出事業に活用 自転車旅行サポートシステム開発事業の実施 「しまなみサイクリスト施設緊急整備事業」の実施 世羅町 <ul style="list-style-type: none"> 銀山街道沿線市町等連携協議会連絡調整会議の開催 銀の道広域連携実行委員会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 尾道市 <ul style="list-style-type: none"> 「しまなみサイクルオアシス」の設置箇所の増加(尾道市内:計6箇所) 「しまなみサイクルレスキュー」の開始(尾道市内:計10箇所、愛媛県今治市:8箇所、愛媛県上島町:5箇所) 「サイクルトレインしまなみ号」の運行 「サイクルトレイン」と連動した「ガイドツアー」の実施 「サイクルスタンド26基、自転車修理工具セット20セットをサイクルオアシスに設置」 世羅町 <ul style="list-style-type: none"> 銀山街道を日本風景街道に登録するため、銀山街道沿線市町等連携協議会などの会議を通じて検討 全線ガイドの育成(養成)講座の実施 弘済会の助成を受け、銀の道カレンダーの作成 リーフレット、ポスターの作成・提示の促進 「2012年銀の道を歩く」に参加
総括的評価		<p>調査目的の達成状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> 尾道市においては、自転車を中心とした地域振興策を実施しており、しまなみ海道全線において対岸の愛媛県今治市と連携し、平成26年度に「瀬戸内しまのわ2014」を開催予定である。また、国道185号のさざなみ海道、国道184号のやまなみサイクリングロード(仮称)においても自転車を中心とした地域活性化を進めており、周辺自治体に取組みが広がっているため、地域コアとしての役目を果たしており、当初の期待された効果は達成されたと考えられる。 世羅町においては、銀山街道を中心とした地域振興策を実施しており、銀山街道を平成25年度中に風景海道への登録を目指し、沿道市町と連携しさまざまな活動を行っている。尾道松江線開通後の中山間地の素通りを懸念し、平成19年度に世界遺産に登録された石見銀山から尾道市に通じる銀山街道を地域資源とし、沿線市町と連携して銀山街道の魅力アピールしている。広島県と島根県という県の枠を超えた取組みであり、これまで点で行っていた地域活性化を銀山街道という線つなぎ、さらに面的に取組みを広げており、当初期待された効果は達成されたと考えられる。 <p>調査手法の妥当性</p> <p>調査の手法については、当初期待していた調査目的が達成されていることから、妥当であったと考える。</p>	